

第42号



2015. 7月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.com>  
編集 広報ボランティアグループ

# 定着した花しょうぶ祭り

【主催】花しょうぶ保存会／【共催】町社会福祉協議会／【後援】町観光協会・商工会

## 満開の菖蒲

多くの人々が感動を共有

恒例となった花しょうぶ

祭りが、6月20日(土)21日

(日)に開催されました。

日曜日が雨にも拘わらず、来客者が二日間で千人を超えました。

上遠野町長は「ここまで美しい菖蒲園を育ててくれ

た皆様に敬意を表します…」と開会挨拶。

この日、色とりどりの満開の菖蒲が絨毯を敷き詰めたように400mを埋め尽くしていました。人々は、菖蒲畑の中の小道を散策し、会場に流れるハワイアンの歌声や民謡を聴きながら清らかな感動を味わったことでしょう。

会場にはお休み処、関係団体が開いた掛茶屋、焼きそば、おにぎり、クッキー、野菜、手作りの小物の販売などがあり、祭りの雰囲気を感じていきます。三味線演奏、しの笛演奏、今年も来てくれました。

## 山崎会長の思い

### 人々の協力

「最近、町外県外来園者も増えています。介護施設に入所されている方々も多く来られます。心の安らぎになれば嬉しいことです」と山崎さん。

この菖蒲園、17年前山崎



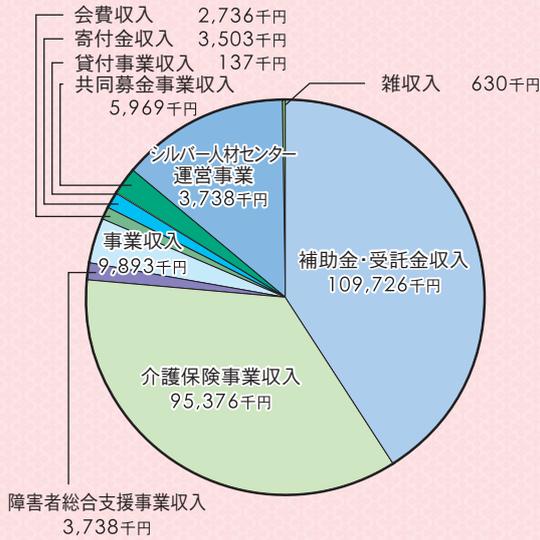
秀雄さんが、一本一本苗を育てることからはじまりました。そのうちに人づてに作業を手伝う人々が現れ、それが8年前、祭りの発足と同時に保存会になりました。会長は山崎さんです。保存会は14名。草取り、肥料やり、花がら摘みなどの作業をし、花を育てます。また、祭りの運営には保存会、関係団体の他、ボランティアサークル男塾が参加しています。

尚、この期間に販売された苗の売り上げ全てが、町社会福祉協議会に寄贈されました。

# H26年度城里町社会福祉協議会決算

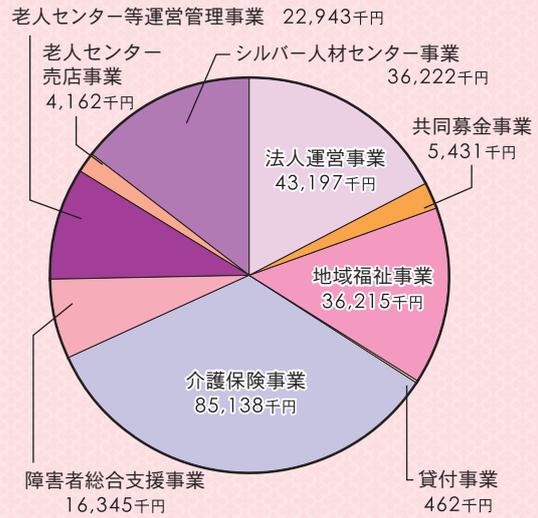
## 収入の部

収入 268,318千円



## 支出の部

支出 250,115千円



### ◆H26年度 事業実績報告◆

広報紙の発行 広報委員会	「かざぐるま 37号・38号・39号・40号」各戸配布 広報紙発行に関わる編集会議 累計16回		
社会福祉大会	善意銀行寄附者、福祉功労者の表彰、受賞者85名（団体含む）		
地域ケア推進事業 キーパーソン会議 研修会 クイック調整会議	事例検討、意見交換（民協定例会において実施） 計12回 地域ケアシステム推進事業 研修会 参加者 54名 <在宅ケアチーム 177チーム> 3回		
配食サービス	利用登録者数 141人	延べ	5,978名利用
ふれあいサロン事業	自主活動サロン（48か所）	延べ	12,576名参加
ふれあい訪問サービス		延べ	964名利用
介護用品支給事業	支給者実人数 7名	延べ	60名
子どもヘルパー派遣事業	自宅訪問事業ほか 8回実施	子どもヘルパー21名	延べ205名参加
地域活動支援センター事業	*農作業・外注作業など実施	対象者 11名	
日中一時支援事業		延べ	933名利用
在宅福祉サービス事業	利用会員登録数 22名	協力会員登録数	20名
入学準備金支給事業	小・中学校入学祝い金支給		10名
訪問理美容サービス事業		延べ利用者	20名
紙おむつの配付		延べ利用者	306名
ボランティア活動事業 福祉体験学習 ボランティアスクール	小・中学生対象 中学生対象	福祉体験など 5回開催 避難所HUG体験など	延べ 429名参加 延べ 27名参加
心配ごと相談事業	<相談件数実績> 延べ 78件		
居宅介護支援事業	・実人数 234名	延べ	1,925件
訪問介護事業	・実人数 27名	延べ	173名
訪問入浴介護事業	・実人数 5名	延べ	44名
通所介護事業	・実人数 61名	延べ	569名
障害者自立支援費事業	・実人数 7名	延べ	66名
身障入浴事業	・実人数 4名	延べ	39名
シルバー人材センター	受注件数 1,175人	延就業人数	6,517人
デマンド交通事業	利用者計 11,314人	減免利用者	2,063人 1日当たり 55人
金婚者への記念品贈呈	金婚該当者 15組		
火災見舞金	3件（住宅火災）		
小口貸付事業	14件		
老人福祉センター管理事業	やまゆり荘・桂老人C	利用者数	10,683人

きんつと生きる

# 地元を愛する陶芸家族

清水 正章さん・俊子さん（小勝）



清水さんご夫婦

林の中の細い坂を上って行くと、木々に囲まれた清水さんのお宅がありました。声を掛けると作業中の手を止めて笑顔で迎えてくれました。陶芸の器や人形がたくさん飾られた部屋に案内され、娘さんが作ったカップに注がれた薬膳茶を頂きながらお話を伺いました。



正章さんの作品  
[炭化焼竹文筒]

修業を積んでから、地元にて窯を築いて独立しました。「陶芸の世界に入ってもう45年になりますよ」と感慨深く話されました。

奥様の俊子さんも陶芸家で、最近ではひな人形の製作が多いそうです。息子さんや娘さんも陶芸の世界に入り活躍されています。清水さんご夫婦は、陶芸の創作活動以外にも地元の子供達との交流に熱心です。去年までは、七会中学校で生徒達に抹茶碗作りとお茶会を15年間指導していたそうです。生徒達が自分で作った抹茶碗を使ってお茶を頂くのは忘れられない貴重な体験になったはずですよ。

「今年、七会中学校は閉校になってしまったのもう終わりです」と言ったその表情は寂しそうでした。今は、小学生を対象に、「こども陶芸教室」の指導をしていて、小学生達は粘土を使い、自由で発想豊かな作品を作っています。出来上がった作品は、笠間市にある県陶芸美術館・県民ギャラリーにて、7月31日から8月30日まで開催される「第15回全国こども陶芸展inかさま」に出品されるのでとても楽しみです。

息子さんや娘さんがご両親と同じ陶芸の世界へ入ったのもご両親から陶芸への熱い情熱や魅力を感じとったからでしょう。70歳になつて体力は落ちたと言っていました。作品に対する熱い想いを話す時は、若者のようでした。



俊子さんの作品[ひな人形]

## つくしの四季



つくし作業所の方も、今は参加できなくて半年が過ぎてしまいました。これからある作業所の研修旅行には参加する予定なので、行ってきた感想など、後の広報紙に書けたらと思います。今回は、僕の生活の様子を書かせてもらいます。3月はいきものがかりのコンサート、4月には神戸・大阪旅行、6月はmiwaのコンサートなど楽しんでできました。

4月の神戸・大阪旅行はヘルパーさんで行ってきました。今まで親にしてもらっていることと同じようにお願いできると気づき、自信ができました。観光もいつものようにできました。miwaのコンサートでは、横浜アリーナに行き、去年車いす席で一緒だった方も来ていました。僕のことを覚えていてくれて、色



々な話をしました。こうした共通の仲間との出会いもいいと思えました。さて、皆さんひまわり号をご存知ですか？ある障がい者の方が、電車に乗ってみたいという夢を叶えてくれた障がい者向けの旅行電車です。今年で20年になるそうです。障がい者、家族、友人が参加できます。僕もいつか参加してみたいと思っています。そして、いろんな人とのつながりを深めていきたいです。（加藤直）

# ボランティア紹介

★ホロルクラブ  
★ともしび  
★運転ボランティア

城里町社会福祉協議会に登録しているボランティアグループである、ホロルクラブ・ともしび・運転ボランティアの活動を紹介します。



この3つのグループの中から8名ほどで、第3木曜日、七会介護保険事業所でデイサービスのボランティア活動をしています。デイサービス通所者のみなさんに、入浴後の髪の手入れ、

小物作り、折り紙、塗り絵のお手伝いと又20分間のタオルでのストレッチ、玄米で作ったダンベルでの二ギニギ体操を行っており、大変喜ばれています。

「ともしび」は平成6年常北地区で機能回復訓練を目的として設立され、リハビリ体操を主体に活動を始めました。24名が活躍しています。(代表 入野きみ子)

「運転ボランティア」は平成11年に設立され、7名の方々が参加しています。(代表 寺門 茂雄)

また「ホロルクラブ」は平成12年、高齢者の健康増進と体力の維持をサポートするために設立されました。会員は28名です。(代表 寺門 茂雄)

つていました。その意欲を引き出しているのもやはりボランティアの方です。根気良くいつも笑顔を絶やさず全体に目を配りながら、時には寄り添いやさしい言葉をかけながら対応していただきました。やはり何か人のために手をさしのべてあげたいという人達の行動はその周りの人達の気持ちまでも明るく、そしてにこやかにさせてしまうという不思議な力を持つているんだな、と感じました。参加している男の方に話を聞いてみました。

「楽しいよー。ここに来ると話相手も居るし回りの話声も自然と聞こえてくる。この部屋も綺麗で柔らかな感じがする。お手伝いをしてくれる人達もみんないいよ」とにこやかに話してくれました。

この素晴らしい活動がこれからもずっと続くことを願いながら帰って来ました。



## 感謝を込めて、ボランティア

常北中学校の生徒約350名が、部活動で町の施設を使用しているので、感謝の気持ちを表したいと町に申し出、スタジイの木の下での草取りボランティアを行いました。暑い中、1時間半の草取りに汗を流しました。

### 小勝放牧場

しろさと 25

旧七会幼稚園の上にある丘から、牛の鳴き声が聞こえてくるのを知っていますか。鳴き声を辿って行くと小勝放牧場があります。

小勝放牧場は17ヘクタールの広さがあり、25頭の黒毛和牛が4月中旬から10月下旬までの間、放牧されています。

牛達は、自由気ままにのんびりと歩いて、牧草を食べたり、昼寝をしたりしています。広大な放牧場でリラックスしている牛の中に入ると、牛だけの世界に紛れ込んだかのような感じです。

運がよければ、旧幼稚園の丘にいる牛に会えますよ。



のんびりと牧草を食べている牛達

# 身障者の補助犬に飼育管理の補助金を交付

## 「補助犬」について

補助犬には、盲導犬、介助犬、聴導犬があり、身体に障がいのある人のからだの一部となつて、生活を支え、お手伝いをするために、特別な訓練を受けている犬です。

**盲導犬**……目の不自由な人が安全に街など歩けるように、段差や、階段、曲がり角などを教えます。胴体にハーネスを付けています。

**介助犬**……手足が不自由な人に代わつて、落とした物を拾つたり、ドアを開けたり、スイッチを押したり、着替えなども手伝います。

**聴導犬**……耳が不自由な人に代わつて音を聞き知らせます。車の音や、ドアのチャイムの音、非常ベルなどを教えます。

こうした補助犬は、外へ出たら集中になります。仕事に集中できるよう、周りの人は次の点に注意しましょう。  
①食べ物や水を勝手に与えない。  
②可愛いからといって、見つ

めたり、触ったり、話しかけたりしない。

ただし、利用者が困つていようでしたら「お手伝いすることはありますか」と声をかけて下さい。

城里町社会福祉協議会では、こうした補助犬の飼育管理のための補助金を交付しています。対象者は

①城里町内に住所を有すること  
②身体障害者手帳の交付を受けていること。

③補助犬の訓練を目的とする法人から補助犬の貸与を受けていること。

④犬の登録及び狂犬病予防接種を実施していること。

以上の各項目いずれも該当している人です。

補助額は年額3万円以内です。補助を希望される方は町社協までご相談ください。



## 「身体障害者補助犬法」

補助犬を同伴して、公共機関や施設、スーパーマーケットやレストラン、ホテルなどに、気持ちよく入ることが出来るようにするための法律です。店側も「補助犬を同伴した人を快く受け入れます」という意思を表す「補助犬マーク」を、入口

や目立つ場所に掲示して温かく迎えますしよ。



しかし、現実には、この法律が広く浸透していないため入館や入店を拒否される場合が少なくありません。実際に盲導犬を利用してAさんは仲間と旅行しているときに入店を拒否されて皆に迷惑がかり、困ったことが幾度もあったそうです。また、災害時に犬が理由で避難所に入れませんでした。障がい者のための避難所を設けている自治体もあります。城里町が障がい者にとって、やさしい町でありたいと思います。

# 育児用品助成事業 (すこやか赤ちゃん券)



## ご案内

お子様のお誕生おめでとうございます。城里町社会福祉協議会では、安心して子育てができるように、赤ちゃんがお生まれになったご家庭に、育児用品の購入助成を実施いたします。対象となるご家庭は、お気軽にお申込みください。

## 対象者

城里町に住所を有し、お住まいになっている家庭で、満1歳未満の乳幼児を養育している方(平成27年4月1日以降に産まれたお子様が対象)

## 内容

城里町で購入する育児用品の費用を子ども1人につき、10,000円分のチケット(1,000円×10枚)で交付します。

## 対象商品

- 紙おむつ
- 粉ミルク
- 哺乳瓶及び乳首
- おしりふき
- 母乳パット
- 哺乳瓶消毒液 等

## 助成方法

1. 育児用品支給事業申請書を城里町社会福祉協議会に提出してください。
2. 該当となる家庭に決定通知書を交付いたします。
3. 育児用品支給券を社会福祉協議会窓口で発行します。

【お問合せ先】

城里町社会福祉協議会

電話) 029-288-7013

FAX) 029-288-7021



「育児用品助成事業」は、赤い羽根共同募金配分金で実施しています

# 手話を学ぶ

## ⑬ 夏

梅雨を過ごし、夏に向かうこの時期ならではの、手話を学びたいと思います。

### 「暑い」

右手でうちわや扇子を持つて、手首をひねってあおぐ動作をする。



うちわなどであおぎ風を送る様子(あおぐ・うちわ・夏・扇)も同じ手話です。

### 「湿っぽい」

両手の指先を交互につけたり離したりする。



湿ってベタベタしている状態(浴・漣)も同じ手話です。

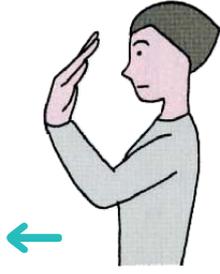
「気温」  
左手のひらに右手の人差し指をあてて、上下に動かす。



温度計の赤い部分が上下する様子(温度)も同じ手話です。

### 「負ける」

①両手の手の平を自分に向ける。②次に両手の指を手前に倒す。



②

①

※右手のみを使う表し方もあります。(敗れる)も同じ手話です。  
※「暑い」+「負ける」で夏バテを表します。

### 「海」

①右手の小指の先を口元にあて、右に引く。(塩辛いを表す) ②次に手の平を上向きにし、波立たせながら右に引く。(水を表す)



①



②

(水・水分・水曜日)も同じ手話です。

### 「水泳」

右の人差し指と中指を伸ばし、交互に上下させて右に動かす。



右手の2本の指を足に見立て、バタバタさせて泳ぐ様子(泳ぐ・プール)も同じ手話です。

## 災害時等 要支援者のために

今年度より、城里社協善意銀行事業において、災害時等要支援者のための助成事業を新規に実施いたします。

災害対策の強化を図るため、在宅で災害時等に支援を必要とする方に対して、地域で見守り、地域で助け合う為に必要とされる「啓発活動」や「要支援者把握活動」等に係る経費を助成いたします。

### ○助成額

一組織当り 2万円

### ○助成対象組織

行政区を単位として結成された「自主防災組織」

### 【お問合せ先】

城里社協

029-288-7013

### 善意銀行事業とは……

善意をもって寄せられた金品の預託をもって、地域福祉事業等の振興を図る事業です。

## 城里町七会小学校 社協デイサービス見学

平成27年6月16日(火)に城里町社会福祉協議会七会介護保険事業所に七会小学校の第四学年の児童が施設見学に来ました。

児童も初めての見学で緊張していましたが、デイサービス利用者の方が児童たちに優しく声をかけてくれたので、気持ちも和らいだ様子でした。

施設の責任者、管理者から施設や高齢者の話を聞き、その後施設内を見学。いくつか質問も飛び交い熱心にメモを取っている姿が印象的でした。



大きく育て！たくさん実れ！



6月2日(火)上青山にある畑で、地域活動支援センター「つくし」の通所者7名と常北小学校の全児童128名とで、「紅あずま」というさつま芋の苗を植えました。地域の小学校との交流はつくしの通所者達も初めてで、とても楽しみにしている様子でした。

畑には等間隔で小さく穴の開いた黒いビニールで覆われた24本の畝があり、児童達は16のグループに分かれました。「穴は指で少し広げて、苗は10cmくらい土の中に斜めに差すんだぞ。一畝一畝で苗の向きを交互に変えて。心をこめて植えないと育たないぞ」との指示を受け、一本一本丁寧に約850本の苗を植えていきました。

「お芋の苗、植えたことあるかな」と児童たちに尋ねると多くの児童が保育園や幼稚園で植えた事があると

の返事でした。

苗を植え終わると、通所者達と児童が一緒にジョウロで、一本一本丁寧に苗に水をかけてやりました。

「楽しかった」と通所者達や児童達から声が聞こえてきました。薄曇りで少し暑い日の畑作業でしたが、双方にとって良い経験ができたようです。

これから通所者達が、この苗を大切に育てていきます。実りの秋が来たらまた常北小学校の児童達とさつま芋を掘り出し、収穫を祝うそうです。



常北小学校の児童たち

～経験と知識を活かして、あなたも仲間になりませんか?～

会員になるには・・・

入会出来る方

- 城里町に在住する原則として60歳以上の方で、心身共に健康な方であれば入会できます。

申込みの方法

- 城里町シルバー人材センター窓口(社協内)で登録していただきます。申込書は窓口にあります。また、社会福祉協議会ホームページの中でもダウンロードできます。

入会申込に必要なもの

- 申込書 ● 就業内容承諾書 ● シルバー保険承諾書 ● 年会費1,000円 ● 証明写真(2.5cm×3cm)2枚

その他

- センターと会員の間には、雇用関係はありません。
- 会員の就業保障や所得保障はいたしません。また、入会してもすぐに仕事に就けるとは限りませんのでご了承ください。

～困ったなと思ったら、お電話下さい～

お仕事を依頼したいのだけれど・・・

申込の方法

- 電話でも受け付けします。
- ①お名前
- ②ご住所
- ③ご連絡先
- ④ご依頼内容を伝えて下さい。見積り(金額・人数・日数)に伺います。



仕事の完了

- 仕事の完遂には、センターが責任をもちます。完了後、センターより請求書を発行いたしますので、それに基つきお支払ください。(振込の場合、手数料はお客様負担になります。)
- 集金もいたします。

城里町シルバー人材センター

お電話下さい ☎ 029-288-7013

FAX 029-288-7021

ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.jp/>

心身障害児(者) 父母の会 会員募集!!



城里町心身障害児(者)父母の会では、一緒に活動する仲間を募集しています。当会は、心身障害児(者)の福祉向上並びに心身障害児(者)を育てる家族が手をつなぎあい、心身障害児(者)の幸せを願い、その福祉向上を図ることを目的としています。

季節ごとに親子で楽しめるイベントや年間を通して研修会なども企画しています。

城里町に居住する心身障害児(者)とその保護者の方、本会の趣旨に賛同していただける方々を募集しています。加入希望の方は左記まで連絡をお願いいたします。

\*お問い合わせ\*

城里町社会福祉協議会

☎ 029-288-7013

# わが町のさわやか元気さん 35

木村 喬さん 89歳 阿波山

喬さんは、平成23年に金婚式を迎えられました。

茶の間にはご家族と一緒に  
の祝いの写真が飾られて  
いました。

城里町高年者クラブ連合  
会の会長・又地元の長寿会  
の会長を務められました。  
1年前に全身に発症した

杉山みち子さん 87歳 阿波山

過ぎたるを振り向くよりもこれ  
からの老の生活を大切にせむ

現在の心境を短歌に詠ま  
れたみち子さん。長い間茨  
城歌人(短歌誌)に投稿して  
いました。現在は町広報誌  
の文芸しろさとに投稿され  
ています。  
スポーツもグラウンドゴ



带状疱疹の痛みで体力が低  
下しましたが、現在良好と  
の事で安心をしたそうです。  
車も今年5月に運転を止

め、今は自転車で行動をし  
ています。ニユースポーツ  
の審判の資格も持っていま  
すが、週2回の練習にも参  
加、現役の選手として活動  
をしています。  
喬さんは、19歳の時に磯  
浜の、国民学校で教員をし  
て居ました。  
教え子が、毎年訪ねて来  
てくれるとの事です。今一  
番の喜びと楽しみだと話さ  
れてました。

ルフ、ゲートボール、輪投げ  
と万能です。ボランテア  
もしているの、カランダ  
ーにはスケジュールが沢山  
書きこまれていました。毎  
日目的をもって行動してい  
るみちさんは若々しく明  
るく年齢を感じさせません。  
鶏を飼い畑ではいろいろ  
な野菜を作り、老人施設や  
配食弁当の食材に持っていき  
喜ばれています。現在は  
息子さんと夫婦とお孫さん  
の4人で暮らしています。



食事はお嫁さんが料理上手  
で「何時もおいしく食べられ  
幸せです」と笑顔で話されま  
した。これからも短歌にス  
ポーツ、ボランテアと、お  
元気で活躍されます様に。

## 城里社協 新理事・監事の紹介

平成27年6月9日より、  
城里社協の新たな役員が選  
任されました。

任期は、平成29年6月8  
日までの2年間になります。  
よろしく願います。

会長	上遠野 修
副会長	阿久津 勝紀
副会長	園部 良夫
常務理事	小野瀬 篤郎
理事	阿久津 春雄
理事	大越 正子
理事	寺門 茂雄
理事	加藤木 正道
理事	大澤 若葉
理事	添田 規矩
理事	和田 雅治
理事	興野 一秀
理事	山口 利春
監事	加藤木 吉賢
監事	富田 孝一

## 目次

- 定着した花しょうぶ祭り……………1
- H26事業報告・決算報告……………2
- きらっと生きる……………3
- つくしの四季⑤……………3
- ボランティア紹介……………4
- 感謝を込めてボランティア……………4
- しらさと⑤……………5
- 補助犬飼育管理費補助事業……………5
- 育児用品助成事業……………5
- 手話を学ぶ⑬……………6
- 災害時要支援者のために……………6
- 城里町七会小学校社協テイスリス見学……………7
- 大きく育て！たくさん突れ！……………7
- シルバー人材センター……………7
- 父母の会・会員募集……………7
- わが町のさわやか元気さん⑤……………8
- 新理事・監事紹介……………8
- 目次・編集後記……………8

## 編集後記

少しの涼しさを求めて西  
に傾いた太陽を背に田んぼ  
道を歩く。緑一色となった  
田の中に白いシャツと麦わ  
ら帽子がかすかに動してい  
る。その3色のコントラス  
トがすぐく目に映える。近  
づいて声をかけると手を休  
めて顔をあげ応答してくれ  
た。その顔は玉の汗と笑顔  
でいっぱい。話が済むとま  
た緑の中へ。その白い背中  
が大きく感じられた。実り  
の秋までどうか順調に。

(わ)